

## 聖書使徒の働き 2 : 22 ~ 36

2020/1/26

## 「ペテロの説教」

## 1. はじめに

- ・前節ヨエル書は終わりの日に聖霊を注ぐと預言した。
- ・ペテロの説教(クリスチャンとしての最初の説教)
  - a.十字架は偶然に起こったのではない。
  - b.神の愛と苦しみの窓としての十字架。

## 2. 本文

## a. 22 ~ 28 節 ナザレ人イエス

- ・ 22 節：ナザレ人イエス (ガリラヤ—侮られた地域)
- ・ 23 節：神の計画と予知
  - ・十字架を失敗と見る人、よみがえりを信じられないと考える人。
  - ・イザヤ 42 : 9 「初めのことは、見よ、すでに起こった。新しいことを、わたしは告げる。それが起こる前にあなたがたに聞かせる。」
- ・ 24 節：「よみがえり」
- ・ 25 ~ 28 節：神は信じる者をよみに捨て置かれない。(27 節)

\* 歴史ということについて私たちはどんな意味として思っているのでしょうか。それは人間が造り出したものである。自分の人生においても自分が作った自分の歴史であるというように。でもここで語られるのは、神が私たちの歴史の中に関与されるということです。創世記のヨセフは「今、私の人生の意味が分かった」と言い、パウロは圧倒的な力によって、劇的な回心をした。

## b. 29 ~ 36 節、復活の信仰的論証 参考：詩篇 16 : 8 ~ 11

- ・ 30 節：ダビデは預言者ですから「王座に就かせる」ことを知っていた。
  - ・ I コリント 15 : 14 「そして、キリストがよみがえらなかつたとしたら、私たちの宣教は空しく、あなたがたの信仰も空しいものとなります。」
- ・ 32 節：「私たちはみな、そのことの証人です。」 ⇒ イエスの死とよみがえり
- ・ 33 節：「ですから、聖霊を注いでくださったのです。」
- ・ 34 ~ 35 節 参考：詩篇 110 : 1
- ・ 34 節：「あなたは、わたしの右の座に着いていなさい。」
- ・ 36 節、神が今や主ともキリストともされたこのイエスを、あなたがたは十字架につけたのです。

## 3. まとめ

- ・復活は信仰の確信を与えるものである。
- ・この次の聖句は 37 節：人々はこれを聞いて心を刺され、ペテロとほかの使徒たちに、「兄弟たち、私たちはどうしたらよいのでしょうか」と言った。

\* 日本人は、罪は明らかな犯罪か、もしくは共同体を乱したことを罪と考えます。ですから、多くの日本人は、私は罪とは関係ないと考えます。